

たい かい せん げん

大会宣言

『いじめ』、いじめとはどのよりのものでしょうか。
いじめは人の体だけでなく、心も傷つけます。ボロボロに傷ついたり、心と体は、時に人を死へと追いやることもあります。一昨年、赤穂市内では、いじめ、暴力が問題になりました。同じ過ちを繰り返さないためにも、一人一人がこの問題に向き合い、みんなでお考え、無くしていかなければなりません。

私たちは赤穂市の各中学校でアンケートを行うとともに、通信を発行するなど、みんなにとって安全な学校や環境をつくるために取り組んでまいりました。さらに、いじめ防止の標語を中学生全員が作り、良い作品を中学生だけでなく、市民のみなさんにも伝えていくことになりました。

しかし、いじめをなくすることは、簡単にはできません。一人一人の思いやりと勇気が、みんなを笑顔にし、いじめをなくす力になっていきます。そんな力が集まって『やさしい集団』となり、いじめをなくしていくことができると私たちは信じています。

仲良くみんなで協力し合ってください。

一人一人がいじめについて取り組んでいってください。

私たちはいじめをなくしていくために、みんなで支え合っていくことで強くなる『仲間』の力が必要です。そして、自分のことを大切にするとともに、相手と周りのことを考えて行動できる『やさしい集団』になっていきます。

そんな『やさしい集団』作りのためにも、一人一人をもっと大事にし、心配な人がいたら、放っておかず、笑顔で声をかけます。

私たちは、みんなが幸せでやさしいあふれる学校で学びたいのです。そんな学校をつくる主役は、私たちです。私たちは、いじめや暴力を他人事にせず、一人一人がいじめや暴力を止めるという高い意識をもつことで、幸せでやさしいあふれる学校をつくることができます。

私たちは、『仲間』の力を信じ、赤穂市からいじめや暴力を追放する取組を進めることを宣言します。

平成26年8月10日

児童・生徒代表

赤穂市立赤穂東中学校

安藤 友希